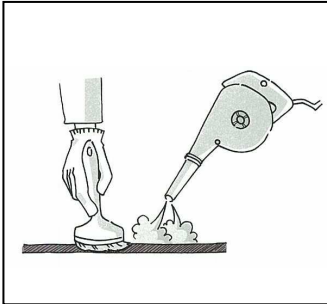


ユニコールドの施工手順

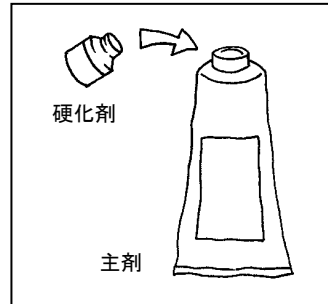
対象製品

- ・ユニコールド
- ・ユニコールドL-2



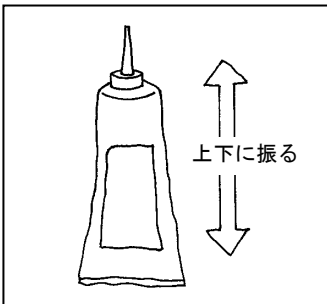
1. 被着面の清掃

充填箇所のゴミや埃をワイヤブラシ等を取り除いて下さい。
油分はシンナー等で除去し、十分に乾燥させてください。



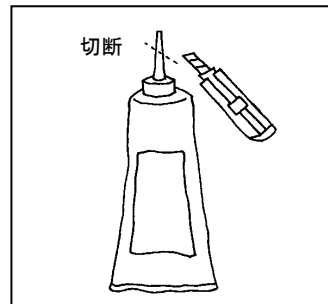
2. 硬化剤の添加

- ①硬化剤瓶のキャップを外します。
- ②主剤チューブのキャップを外します。
- ③硬化剤を主剤チューブへ入れて下さい。



3. 混合

主剤チューブにキャップをしっかりと閉め、チューブを上下に20回程度強く振って混合（約10秒）して下さい。



4. ユニコールドの使用

キャップ先端を使用用途に応じて切断し、ご使用下さい。目地注入とひび割れ注入への使用方法に関しては、下記を参照下さい。

※カッターで先端を切断する際には、手を切らないように十分に注意して下さい。

◆コンクリート舗装への目地注入の場合

ノズルの先端を目地幅に合わせてカットし、吐出量を調整した後に注入して下さい。

◆アスファルト舗装のひび割れ補修の場合

ノズルの先端をひび割れ幅に合わせてカットし、すり付けるように注入して下さい。

【作業可能時間（可使時間）と硬化時間】

使用する場所の湿度・温度や使用条件により変化します。下表を施工の目安として参考にして下さい。

ユニコールド

温度（℃）	硬化剤添加量	作業可能時間（分）	硬化時間（分）
5	全量	18	29
10	10℃設定ライン迄	15	25
20	20℃設定ライン迄	10	21
30	30℃設定ライン迄	11	21

※外気温が30℃以上の際、硬化剤の添加量を少なくすると硬化不足の要因となりますので、30℃設定ライン迄必ず添加して下さい。

ユニコールドL-2

温度（℃）	10	15	23	35
作業可能時間（分）	24	19	15	7
硬化時間（時間）	2.0	1.5	1.5	0.3

※硬化剤は必ず全量を添加して下さい。

注意事項

- ①製品は、湿度の低い冷暗所に貯蔵して下さい。
- ②硬化剤に関しては、溶剤を使用していますので、火気厳禁で作業して下さい。
硬化剤が黄色に変色する事がありますが、性能には影響ありません。
硬化剤に若干の沈殿物が生じる事がありますので、その場合はよく振り混ぜてご使用下さい。
- ③降雨や降雪が予測される場合は施工を中断して下さい。
- ④ユニコールドが皮膚に付着した場合、溶剤を含ませた布切れで拭き取った後、石鹼水で十分に洗浄して下さい。
- ⑤製品の安全性に関しては、製品安全データシート（MSDS）を参照下さい。

